

医療機関各位

平成 28 年熊本地震に関連する診療報酬の取扱いについて

BRAINS では次のように操作してください。

1) 保険者番号がわからない場合

上記通知によると、保険者番号がわからない場合は、紙レセプトにより請求すること、となっています。

紙レセプトを印刷して、提出に必要な情報を手書きで追記してください。

保険者番号がわからなくても、連合会に提出するか、基金に提出するか、を区別する必要があります。その区別のため、法別番号だけ、つまり、連合会提出分（国保）は「」半角スペース2つ、基金提出分（社保）は、「06」を登録してください。法別番号だけ入力して、紙レセプトを出力すると、保険者番号欄に「ダミー保険」と印字されます。「ダミー保険」の文字は横線を引いて消してください。

2) 保険者番号がわかる場合

通常どおり入力します。

a) 減免区分

減免区分を「3支払猶予」にしたい場合には、保険登録画面の一部負担という枠の中の、徴収猶予、にチェックマークをつけてください。

保険者番号 06 本人 家族
被保険者番号 継続
被保険者氏名
有効期間 平 28 年 4 月 1 日から 標準負担率に戻す 平 年 月 日まで
自己負担率 0 % 自己負担限度額 0 円
入院自己負担率 0 % 入院自己負担限度額 0 円
一部負担
 減額 免除 徴収猶予
減額率 % 減額金額 円
証明書番号
 長期高額療養費対象 確認日履歴
保険証確認日 平 年 月 日
保険オプション オプションなし(0)
論理コード
保険者名
保険者住所
事業所名
事業所住所

b) レセプト特記事項欄への出力

レセプト特記事項欄に「96」と出力したい場合には、カルテ画面に親コメント文{54}を使って、{54}96、と入力してください。診療月のいずれかの来院に1回入力してください。

入力例)

コ) {54}96

同様に「97」と出力したい場合には、{54}97、と入力してください。

c) 摘要欄への出力

摘要欄の先頭に「災 1」と出力したい場合には、カルテ画面に親コメント文{57}を使って、{57}災 1、と入力してください。これも診療月のいずれかの来院に 1 回入力してください。

入力例)

コ) {57}災 1

同様に「災 2」と出力したい場合には、{57}災 2、と入力してください。

3) 紙レセプトと電算レセプトが混在する場合の注意事項

保険者番号のわからない被災者レセプトを紙レセプトで出力し、その他のレセプトを電算レセプトで出力する、など、紙レセプトと電算レセプトが混在する場合、電算レセプトファイルに、紙レセプト請求分が混入しないように気をつけてください。

電算レセプトと紙レセプトのレセプト計算の順番に注意してください。

次の順番で操作してください。

3-1) まず、はじめに電算レセプト分のレセプト計算を実行してください。レセプト計算が終わっても、電算ファイルは作成しないでください。

3-2) 紙レセプト分のレセプト計算（印刷）を実行してください。

旧月末計算画面なら、FD,MO,伝送請求データ作成、のチェックをつけずに印刷してください。

新月末計算画面なら、「紙レセプト」タブを使って印刷してください。

3-3) 電算ファイルの作成を行ってください。

電算ファイル作成の直前に、紙レセプトの印刷を行ってください。

すると、電算ファイルから紙レセプト請求分が除外されます。